

## 平成 27 年度沖縄県青年リーダー研修会

平成 27 年 7 月 11 日（土）・12 日（日）

※原文のまま掲載しております。

- 15. 選挙における啓発事業として、何かアイデアがあれば、教えてください。
- ▼教育の場で、同年代の人が同年代の人に理解できるように説明できる物が必要。
- ▼政治家とのトークイベントや、模擬選挙など。
- ▼今回のような研修をもっと行う。
- ▼高校・大学・若者に向けたシミュレーションゲームの体験。
- ▼各政党のマニフェストをスライドでも何でもわかりやすく映像として見せる。
- ▼学校教育で、もっと具体的に選挙について教える。
- ▼各市町村で行い、次のステップで全市町村、さらに県民たいにどんどんステップアップできるようなシステムを導入する。
- ▼子どもに関心持ってもらうためにCMの合間に演説いれてみる。紹介するテーマソング的なのあったり…
- ▼18 才に引き下げられたので各高校生に向けた選挙ルールや情報リテラシーの教育。
- ▼ディスカッション。
- ▼学校の授業にまちづくりゲームを取り入れる。
- ▼高校生、大学生を活用する。政治について話せる雰囲気を作る。

- 17. 「講座」をとおして感じたことや質問・要望などを自由にご記入下さい。
- ▼分かりやすく、おもしろかった。
- ▼たくさんの意見、多角から、考えられた。目的がはっきりしていた。意見が言いやすいメンバーだった。次回は後にすわっていた方々にも参加してほしい。
- ▼グループで話し合っ、情報を共有するのがとてもよかった。
- ▼選挙の率によって政策や方針もかわってくるのかなと思う。
- ▼全体を通して時間に追われていたので、もう少しゆとりがほしかった、考える時間がなかった。
- ▼まちづくりシミュレーションがとても楽しかったし、充実した。
- ▼行政サービスのありがたさを知ることができ、選挙の重要性をしりました。
- ▼内容がかなり難しかった、説明をわかりやすくしてほしい。
- ▼色々な意見を持った人がいて勉強になった。
- ▼とてもためになった。話し合いをして。
- ▼顔の知らなかった人達と、生の意見を腹を割って話せたことが良かったように思う。
- ▼グループワークが多く、様々な意見があること、互いに尊重しまとめることの難しさを感じた。政治への新たな視点が身についたと思う。
- ▼政治についての知識が深まった。

●19. 「政見発表会」をとおして感じたことや講師への質問などを自由にご記入下さい。

▼難しかった（主に言葉が）。

▼とても楽しく、勉強になった。

▼各政党の様々な意見・考えを聞いて良かった。

▼あまり理解できなかったのもう少し分かりやすく説明してほしい。

▼具体的な質問をしても政党内で議論している内容であれば賛成・反対の比率なども言ってほしい。

▼質問は18歳引き下げの選挙を18・19に選挙させてもよかったのでは？

▼講座と同じく、時間ばかりに気を取られてしまったと思う。

▼政党ごとにしっかり意見をもってすごかった。

▼各政党、質問者の質問に、的を得て返答していなかった気がしました。回答がぼやぼやしてる気がして分かりづらい部分がありました。

▼時間制限（早口になる）や、所々の難しい言葉を使うことによる聞き手への伝わりにくさ。

▼賛否のはっきりするもので行う。（例）基地問題

▼もっと意見の分かれる議題でもよかったのではと思います。

▼時間配分が短かったり長かったりしたのもっと余裕を持ってほしい。

▼実際に質問をしてみたいことがきけた。

▼普段、こんなに多くの政党の意見を聞くことはないので、凄く勉強になった。

▼テーマを熱のあるものにしてほしい。

▼テーマが良くなかった。もっと白熱したギロンを！！

▼時間もなかったせいか、具体的な内容が見えなかった。

▼議員の知識不足（質問への答えになっていない etc…）、テーマの難しさに得るモノは少なかった。

●21. 「まちづくりゲーム」をとおして感じたことや講師への質問などを自由にご記入下さい。

▼街づくりがこんなに難しいとは思わなかった。

▼自分たちで、行政を動かす際の考えが色々出て良かった。

▼自分の集落に対して、政治の介入がどのように行われているのかというイメージが付きやすかった。

▼質問時間が少なかった。

▼グループで1人1人が意見を出し合っていてとても良かったです。

▼政策をつくるにも、その一つ一つの集落の問題や、改善点があり、そこをうめ合わせなくちゃいけない。

▼民意が反映されているのが選挙だと思っていたが、投票しないことで、こんなにも差が出ることに驚いた。

▼1つの島を活性化させるために、みんなの知恵をしばり課題を解決していく難しさを知った。

- ▼グループで本気でまちづくりをする事で政治にとっても関心を持った。
- ▼チームワークの大切さ。
- ▼予算を本当にうまく使えば可能性が多い。
- ▼時間の関係上で聞けない事が残念だった。
- ▼助言者の方の意見を聞きながら、ヒントを得て自分達の考えに活かすことが出来た。
- ▼考えすぎて頭がいたくなかった。でもとてもよかった。
- ▼まちづくりは難しかったが、普段政治家の方々が何を考えているのか少し分かった気がして良かった。少し政治への関心がまた増した。
- ▼ルールをもっと詳細にしてほしかったと感じます。
- ▼実際の得票数と、有効数があそこまで変わるとは思わなかった。
- ▼自由な開発をしたかった。
- ▼意見をまとめることの難しさを一番感じた。政策を立案する上での様々な視点を気づくことができた。
- ▼色んな人の意見を聞けて、「まちづくり」について自分では考えつかないことも多く有り勉強になった。自分のチームは落選したが、これもまた将来につながる経験だと思う。

●本研修についての感想をお聞かせ下さい。

▼自分達が知らない事を知る良い機会となった。税のあり方や学力テストのあり方など今まで受けていた学力テストを行う理由を知ることができ、観光の時などにかかる税やその使い道などこれから自分達が考えるべき事などを少しでも多く理解出来た。

18才からの選挙について、これから学校に持ち帰って学校全体として取り上げていきたいと思いました。

▼今回自分が参加した目的が、「政治について興味がある」と言う考えで、応募しました。

もちろん、政治についても学びましたし、「なぜ選挙をするのか」と言う概念もわかりました。周りには年上しかいなくて、始めは話しにくかったけど、もう今は自分が思ったことを発言できるようになりました。

今回参加して良かったなと思っています。

▼今回の研修会で、あまり興味のない政治にとっても興味をもてた。今まではどうでもいいとか、まだ有権者じゃないと思っていたけど、選挙はとても大切なもので、自分たち若い人たちがやっていかないといけないんだと思いました。たぶん、自分達の年代の人は政治に興味がないと思うから、友人につたえていきたい。

▼各政党とも、話をさえぎったりすることもなく、話す時間もほとんど平等に行われていたので、正しいやり方で良いと思った。全国学力テストや、自主財源・18歳選挙権に対する考えが、様々であり、多種多様な意見を聞くことが出来、ためになった。ワークショップに関しては、まちづくりシュミレーションにおいて、明推協並びに選管の皆

さんが優しく教えてくれて、とてもありがたい内容となりました。

▼今回、初めてこのような研修に参加したが、とても有意義なもので大変勉強になった。

今回の体験を通して、改めて選挙の大切さも知り、また政治を行うには様々な情報や意見が必要なのだと思った。

私が選挙権を持つようになったら、立候補者がどのように考えているのか、またどういう方向に導こうとしているのかしっかりと見ながら、投票をしていきたいと思った。今回はどうもありがとうございました。

▼今回、2日間のイベントを通して「投票を誰に行うのか」ということに対して明確になったかと思う。誰が議員になり、その結果どのような政策が行われて、その影響がどのように形に現れるのか。この点から考えると、候補者がどのような考えを持つ人なのかを知らなければ投票に違いが生じると感じた。また、候補者の考えを知るためには選挙期間中の時間で足りるのかという疑問も生じた。何も知らない人に候補者のことをどのように知ってもらうのかはとても重要だと感じた。まちづくりゲームで選挙のプロセスに参加できたことは、大きな意味があると思った。

▼新しい仲間に出会えて良かった。政党の方々と話ができ、答えていただけで良かった。政治家さんたちのイメージは良くない状態に戻った。もっとニュースや自分の学びが必要だと考えさせられた。

▼同年代の人や大人、年下の方々の様々な意見を聞くことが出来たので本当に良かったです。政治について「難しい」という思いを持っていましたが、この研修に参加して、改めて政治は大切で1人1人がしっかり選挙権というもので意思表示しなくては行けないのだと感じました。

いきなり「政治」とは何か。というものを考えるのではなく、自分の身近なことから学べることを学んでいこうと思いました。今回の研修会に参加して、とても発見や学べるものがとても多く、とても良い経験になりました。ほんとうにありがとうございました。

▼政治家(?)とお話をする機会は滅多にないのでありがたかった。同世代、年下、年上と意見交換できて本当によかった。

▼今日の研修会を通して、まず、選挙は行くべきだと心から言えるようになった。それは、投票率が少ない地域は政策の対象からはずれたり、不利になることがある。しかし、そういう民意を示すには選挙という形で表せるのであって、どんどん、自分の地域の改善や向上につながるとわかった。ワークショップにおいては、色々な集落の問題や改善点に考慮した政策や建設などあり、話がとても難しかったが、つまり、投票の現状をちゃんと理解してやっている政治家の姿が実際体験できたので、もっと全体が投票率や意識を向上すれば、もっと町は活性化するんだと実感しました。

▼政党の政見自体は良かったが、観光税については考え中の政党が多く、もっと具体的な政策を聞いたかった。

ワークショップでは、皆の考え方が違って、住民を良くしたいと思う人、票を集めようとする人など、色々な考え方が聞けてよかった。集落ごとに考えることで、身近に選挙を感じることができ良い体験になった。

選挙に行かない人が多いが、政治の話はタブーという社会にも問題があるのではないかと思ったので、今回のように多くの人と話ができる場がもっと必要でないかと考える。

今回の研修で楽しみながら学ぶことができ本当に良い経験となりました。

▼今回、この研修会に参加してとても充実した2日間を過ごせたと思います。各政党の意見をきいたり、まちづくりシュミレーションを通じて皆で意見し合ったり、本当に貴重な経験ができました。

特に、シュミレーションゲームは、皆の意見が沢山出て、どれもゆずれないものだったけど、最終的に本当に自分たちが理想とする島を作り上げることができたので、達成感を感じています。

2日間という短い時間でしたが、グループのみんなや研修会に参加する他の人たちとも食事会を通して、交流できたので良かったです。また、このような機会があれば参加したいと考えています。2日間ありがとうございました。

▼今回のリーダー研修を通して、各政党が持っている思考等が知れ、良い機会になりました。全国学力テスト、観光税の導入等の問題について政見発表をしていただいて、率直の感想は、政党ごとに意見は様々で見ると視点が違うということを感じました。また、政党ごとに発表者がどの点を重視しているのか、はっきりと分かる政党と、明確でなくボヤボヤしている政党もありました。とても良い経験ができました。

ワークショップでは、グループで1つの島をどう改善するか、どういった島にしたいかなど、議論を重ね、深掘りしていくことで改たな課題が発生し、それをみんなで解決していく、本当にいい経験になりました。

これまで以上に政治に関心を持つことができました。

▼グループでのワークショップ、政見発表、まちづくりゲームととても楽しく学ぶ事が出来ました。

政見発表では学生の身でありながら政治家の方々に質問をするという貴重な経験が出来、まちづくりゲームではグループのみんなと本気で議論し何度も衝突しながらも自分達の納得のいくまちを作りあげました。

全体での作業が終わっても集まれるメンバーで集まり何時間も議論と試行錯誤を繰り返し、朝の4時までかかってでも仕上げるという経験も出来参加して本当に良かったと思います。

▼始めは友人に誘われたというだけの理由でこの研修に参加させてもらったものの、講座、政見発表会、まちづくりゲームを通して、選挙について、行政問題について、まちづくりについて学び、より一層政治への関心を深めることができました。特にまちづくりゲームでは、限られた予算の中で、自分達のまちをどのように盛り上げていくかという課題を実際に行うことで、まちづくりの難しさを実感することができました。このことから、ただただ今の政治に不満を言うのではなく、行政活動の難しさを理解したうえで国民は政策に対してものを言うべきだと思いました。

▼初日の政見発表会、2日にわたって行ったまちづくりシミュレーションゲームの2つとも、普段はなかなか体験することの出来ないことだったので、今回のリーダー研修で体験することができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

特にシミュレーションゲームでは政策を考える難しさ、自分の意見を述べることの難しさも経験することができました。

▼今回、初めての参加で参加の理由も深い理由もない参加だったが、多くの人(15歳～)という幅の広いつながりの中でとても良い刺激になった。

政見発表会では、政治に関わる人との話を聞き質問することによって、より政治に対して興味を深めることができた。しかし、その一方で、発表の内容が濃い政党と薄い政党があったこと、明確な意見を持っているテーマでなかったことが少し残念であった。他の学生の質問の切り口は面白いもので学生だからできる質問もあって良かったと思う。

ワークショップについては、高校生、大学生、社会人というグループでまた男女のバランスも良く多くの意見が出ていた。予算を本当に上手く使えば多くのことが可能になる。また、間違った使い方をすれば税が高くなるだけでバランスを考えることの難しさ、楽しさを実感した。

▼各政党の政見発表会では一度にたくさんの意見を聞くことができ勉強になりました。もう少し、議題を意見の分かれるやつにしてもおもしろかったのではないかと思います。1日目、2日目と取り組んだまちづくりゲームは、自分の集落のことを考えるということでグループ内でもたくさんの意見がぶつかり、まとめる事がなかなか大変でしたが、その難しさも逆に楽しめるぐらいの気持ちで取り組みました。

▼本日の研修に参加したきっかけは、先生に誘われて参加しました。不安がいっぱいあるなか、グループのみんなとの議論の中で自分の無知さを一番感じました。精一杯自分の考えを相手に伝えるように説明したり、決め事をするのは、とても大変な作業でした。まちづくりゲームでは、まさかグルクンチームが当選するとは、予想していなくて、驚きました。今回の研修を通して、もっともっと勉強をして、人の心を動かせることのできる社会人になりたいと思いました。今日の出逢いは、自分にとっていい刺激となりました。

▼政党に話を伺った時私個人の考えとしては…とまとまっていない場合安易な答えを決していかなかった。質問した時の答えが返ってくるのが早かった。みなさんの質問もとてもすごく私は圧倒されるものでした。みなさん沖縄のことにととてもよく関心があり知識もあってわたしは学ぶことが多く知識を得ることができました。6日までに質問したいことがあればどうぞとあったメールでまさか自分の質問が選ばれると思ってなかったので、とても緊張してしまいました。

▼存分な話し合いが、自分のグループ内では出来たと思っていたのが（投票）結果としては周りから共感を得られていなかった。もっとこうすれば良くなるといった追求は尽きないということと、各政治団体の気持ちが少しだけ理解できた。

▼政見発表会では学力テストのそれぞれの政党の考えが聞けて大変勉強になりました。

学力テストについて、維新の党の考え方が非常に興味深かったです。維新の党は生活習慣に関する項目を重要視していて、学力1位の秋田は読書量も1位であり、学力と読書量は相関関係にあることを発見しました。こういう発見があるから、学力テストはあったほうがいいのかなと思いました。

また、社会大衆党の考え方も面白かったです。子供たちがどのように成長してほしいかで、学力テストの有無が変わるとというのが社会大衆党の意見でした。2021年には、センター試験が廃止されて面接重視の試験が導入されるので、社会大衆党の考えは時代の流れを捉えた考え方だと感じました。まちづくりの作業に関しては複雑で難しかったです。特にゴミ処理場と下水処理場をどこに置くかでもめました。政治家の仕事が難しいことがわかりました。

▼私が本研修で特に印象に残ったことは、まちづくりゲームです。普段何気なくある公共施設でもちゃんと色々な側面から考えて立地されているんだという事がこのゲームを通じて分かりました。また、その様な事を普段考えている政治家の方々の考えや気持ちも少し理解できた気がします。そうする事によって、政治家に対する見方が少しでもいい方向に変化してきたなと感じています。

加えて、今回の研修中にあった政見発表会でも政治家の方の意見を生で聞くことができて凄く良い経験になりました。普段、遠かった存在を身近に感じ、政治への関心もより強まったと思います。今回は本当に貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

▼今回、初めて研修に参加してみて、一言で言うと、政治、特に自分の住む地域について更に知りたいと感じたのが率直です。始めに行ったワークショップは、税を中心に分かりやすい説明で、復習になりました。政見発表では、政党が日頃出している見解がどのように考えられているのかを党の代表から直接きけて新聞や演説では伝わらない考えをきけたことが自分の知識へとつながりました。今までにない発見として全然違った政党が国家の枠組みからはずれて考えているという共通点に関心しました。ワークショップは色々な授業で取り入れていくべきだと考えます。個人的に私たちのグループは、勝

つためだけにこだわった案ばかりになっていました。その案をくつがえすための代替案を提案できない自分の知識・発想力の乏しさも痛感しました。政治、政策は、悪い意味では票かせぎ案ばかりなのかもしれません。だからこそ有権者が自的に関心をもたないといけないと身をもって感じました。

▼政見発表会は、各政党の意見が聞けてよかったが、テーマにいまいち具体性のないものや、意見の分かれぬものがあり、もっとみんながきになる話題性のあるテーマにしてほしかった。

ワークショップはグループのみんなと話しながらかめたのでとても楽しかった。来年にもあるなら、友人にもすすめたい。

▼非常に勉強になりました。ワークショップ、政見発表会などもっと多くの若者の参加が必要だと感じました。参加促進のためにがんばっていきたいと思います。

▼高校生・大学生との意見交換を通して、政治的関心を向上させることは、今後さらに重要になると感じた。

今回の研修では、ワークショップなど、グループでの話し合いが多くあり、個人個人の意見の違いを知り、それをグループが目指す方向性へどのようにまとめていくべきかを学べたと思う。

社会人の参加が少なかったが、そのメンバーでも意見交換の場を設け、発表できる機会がほしかった。

▼全体的に講義の受講者が考える時間が短すぎる。1日目の午前中を政見発表、午後をまちづくりゲーム、2日目をまちづくりゲームの発表にあてて、各グループに対する意見交換をもっとたくさん与えてもいいと思う。

理由としては、学生にとって考えるということと、他人との意見交換はとても有意義なことだと思うので。

▼若者の政治離れ、無関心というのは、実は存在しないのではないかと思うくらいワークショップでの若者の熱い想いを感じる事が出来ました。

▼今回の研修で感じたことは、県だけではなく市町村レベルでも積極的に取り組むべきイベントだということだ。出身も大学も年齢も違う若者が、「政治」について、「まちづくり」について議論することはとても価値がある。たとえ、参加が自分の意思ではなかったとしても、ワークショップを通じた経験（思考力、協調性、統率力等）は本人の将来に必ず活かせる。私にとっても、静かで積極的ではない学生も、しっかりとした意見を持っていることに気づき、もっとその力を引き出したいという課題ができた。

残念だった点をあげると政見発表会で各政党の特徴が出なかったことだ。テーマが難しかったのもあるが、もっと議員や代表者の方々にはアピールして欲しかった。もし、私が議員だったらと考えると残念でならない。

リーダー研修会の最後に委嘱状をいただいたので、推進協力員として責任を持って行動していきたい。